

1人1台端末の活用による実践事例

(小・中学校)

学校名	勝間田小学校	実践者名	大久保 仁志
教科等	総合的な学習の時間	学年	第4学年
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 3
育成したい 資質・能力	目的に合わせて情報収集する。 分かりやすく工夫したスライドを作成する。		
単元・内容等	「将来の夢をスライドにまとめ、発表しよう」 自分の将来の夢（職業ややってみたいこと）について資料（本やインターネット等）で調べて、スライドにまとめ発表する。		
児童生徒の実態 (端末活用頻度等)	3年生の時に勝央町について調べたことをスライドを写真と簡単な言葉でまとめ、グループで発表している。今年度は、写真や図、絵を有効に活用し、簡単な文章とアニメーションをつけて見やすい発表になるようにした。		
活用の概要（使用アプリ名を含む）			
<p>(1) 将来の職業ややってみたいことについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 将来やってみたいこと、職業を図書の本やインターネット等を活用して調べる。 <p>(2) さらに詳しく調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達と協力して、職業ややってみたいことについてさらに詳しく調べていく。 ・ 仕事内容、その職業になるための方法等も調べる。 ・ 授業時間だけでなく、家庭での自主学習等でも調べてもよいこととした。 <p>(3) 調べた内容を Google スライドにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ダウンロードした画像、図をコピーしたり、実際に写真を撮ったりしたものをスライドに掲載する。 ・ スライドを作成する順として、「①職業の仕事内容 ②なりたい理由 ③どうやったらなれるか ④今からがんばること」となるように指示する。自分なりの工夫を加えたい場合は、発表順を入れ替えてもよいこととする。 <p>(4) 発表原稿を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作成したスライドをもとに、発表原稿を考える。 ・ 強調して伝えたい箇所は、アニメーション等を入れる。 <p>(5) 発表練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループで発表し合いながら、スライドや発表の仕方についてアドバイスを出し合い、改善を加える。 <p>(6) 発表会を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人ずつ、順番に発表する。聞く児童は、全員の発表について感想を書く。 <p>(7) 家庭で家族に発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 端末を持ち帰り、家族にも発表する。ネットワークがない場合はスライドを印刷して発表する。 			
実践者の手ごたえ		児童生徒の振り返りや反応等	
<p>スライド作成の技術は格段に上達し、自主的に文字の色を変えて強調したり、スライドの順番等を考えたりしていた。</p> <p>児童同士でスライドの作成の仕方を教え合ったり、発表についてアドバイスをして作成し直したりする姿が見えた。</p> <p>自主的に調べたことや必要な資料を用意して作成する児童もいた。</p>		<p>(児童の振り返り)</p> <p>「職業について調べることで、知らなかったことが知れてよかった。もっと職業も調べたい。」</p> <p>「どうやったらなれるのかを調べることで、何をがんばればよいのかわかった。」</p> <p>「友だちと発表練習をすることで、自分のスライドの変更点を見つけられてよかった。」</p> <p>「もっといろいろなことを調べてスライドにまとめたいと思った。」</p>	

